

大阪大学いちょう祭 公開企画 「これが大阪大学の最先端！」



主催：免疫学フロンティア研究センター (WPI-IFReC)
大型教育研究プロジェクト支援室 最先端研究開発支援プログラム (審良プロジェクト & 川合プロジェクト)
協力：大阪大学21世紀懐徳堂

免疫研究の 最前線！ 2012 4.30

みる👁 きく👂 かたる🗣 サイエンスカフェ☕

サイエンスカフェ

「樹状細胞は免疫のキープレイヤー」

カフェ・オンザエッジ

— 先端の科学者が見ているコト・モノ —

免疫細胞の一種である樹状細胞の発見は、2011年のノーベル医学・生理学賞の対象となりました。樹状細胞を中心とした細胞群(抗原提示細胞)は、私たちの免疫機構に必須の細胞です。樹状細胞は、微生物の感染を素早く察知するシステム(自然免疫)と、その感染にじっくり対処するシステム(獲得免疫)をうまくつなげて、適切な免疫応答を成立させます。樹状細胞の研究により、病原体ワクチンばかりでなく、炎症性疾患治療薬の開発につながる成果が期待されています。改正教授は樹状細胞の日本における第一人者であり、この分野の最新の研究成果を分かりやすく披露してくれます。

- ◎ 参加費 → 無料
- ◎ 事前登録 → 不要

ゲスト：改正 恒康 さん (大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授)
ファシリテーター (科学を伝えるひと)：坂野上 淳 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター准教授)

日時：2012年4月30日(月・祝日) 13:30→15:00 場所：テクノアライアンス棟 1F アライアンスホール (吹田キャンパス)

[ゲスト紹介]

改正 恒康 さん



大阪大学医学部医学科卒業
大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
大阪大学医学部 助手
ドイツ ケルン大学留学
兵庫医科大学 講師
大阪大学微生物病研究所 助教授
理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター チームリーダー
2011年4月より現職
第12回日本免疫学会賞受賞 (2009年) 受賞題目「樹状細胞機能制御の分子基盤」

サイエンスカフェって？

サイエンスカフェは、1990年代後半からヨーロッパで始まった比較的新しいイベントです。その名の通り、「カフェのような雰囲気の中で科学を語り合う」というものです。サイエンスカフェでは、ともしれば敬遠されがちな科学の話題を、各国の文化やニュース性に合わせて参加者が共有することが大切であると考えられています。



[交通アクセス] 大阪大学テクノアライアンス棟
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号

- 1 阪急電鉄北千里駅から徒歩18分(約1.4km)
- 2 モノレール阪大病院前から徒歩10分(約900m)
- 3 阪急バス「阪大本部前」下車徒歩5分(約400m)

大阪大学いちょう祭 公開企画 「これが大阪大学の最先端！」



主催：免疫学フロンティア研究センター (WPI-IFReC)
大型教育研究プロジェクト支援室 最先端研究開発支援プログラム (審良プロジェクト & 川合プロジェクト)
協力：大阪大学21世紀懐徳堂

パネル展示のご案内

大阪大学で最も先進的な研究を行っている3つの研究プロジェクトを紹介します。



日時 2012年 4月30日(月・祝日) 10:00→17:00 ・ 5月1日(火) 10:00→16:00
場所 テクノアライアンス棟 1F アライアンスホール (吹田キャンパス)

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (WPI-IFReC)

<http://www.ifrec.osaka-u.ac.jp/index.php>

文部科学省の認定する「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択され2007年に発足しました。免疫とは微生物感染から我々の体を守る生体防御システムです。IFReCでは、イメージング技術や生体情報学をツールに取り入れ、複雑な免疫系を明らかにしようと挑戦しています。将来は、リウマチなど自己免疫疾患、アレルギー反応、感染症といった様々な免疫病の治療に役立てていきたいと日々研究を行っています。



審良プロジェクト

<http://akira-pj.lserp.osaka-u.ac.jp/>

「免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立」

(中心研究者：WPI-IFReC 審良 静男 教授)

病原体の攻撃から体を守る仕組みである免疫機構の全体像を明らかにし、自由に操るための手法の確立を目指します。免疫学、生体イメージング、合成化学、システムバイオロジー、構造生物学の専門家による6つのグループで、アレルギーや癌などの治療法の開発につながる融合研究を進めています。

川合プロジェクト

<http://www.kawaisaitan.osaka-u.ac.jp/>

「1分子解析技術を基盤とした革新ナノデバイスの開発研究」

(中心研究者：産業科学研究所 川合知二 特任教授)

最先端の1分子解析技術を研究するとともに、その技術を用いた次世代ゲノム解析技術、癌の超早期診断、花粉などアレルギーやウイルスの超高感度検査、呼吸による疾患診断などに応用するための研究開発を大学と企業が共同で進めています。

審良プロジェクトと川合プロジェクトは、内閣府総合科学技術会議が創設した最先端研究開発支援 (FIRST) プログラム (研究期間：2010年3月10日～2014年3月31日) に選ばれました。FIRSTプログラムは、日本の国際的競争力を強化し、研究開発成果を社会へ還元することを目的としています。

いちょう祭 (吹田キャンパス) おすすめプログラムマップ → <http://goo.gl/CmZTu>

サイエンスカフェなどに関する詳しい情報は、コチラにも掲載されています。 → <http://akira-pj.lserp.osaka-u.ac.jp/>

サイエンスカフェの問合せ先：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 企画室 TEL:06-6879-4273
パネル展示の問合せ先：大阪大学 研究推進部 大型教育研究プロジェクト支援事務室
TEL:06-6879-4786 E-mail: lserp-contact-rep@ml.office.osaka-u.ac.jp

